

地球規模で考え、地域で貢献しよう

こちらは、英文記事「[Think global, act local](#)」（2019年5月9日付）の和訳です。

地球規模の海洋プラスチック問題に対する地域の取り組み - 地域住民によるノルウェー海岸の清掃活動について

海洋ごみとは、人間によって海岸や海に捨てられた廃棄物のことです。海岸や海面、海底に堆積するごみの50~90%、場合によってはその100%が、単体もしくは複数種類の組み合わせによるプラスチックで占め

られています。ほとんどのプラスチックは生分解されないため、海に廃棄されたプラスチックはいずれ海岸に堆積されていきます。

海に廃棄されたプラスチック製の漁網は、海の生き物にからみついて殺してしまう、いわゆる「ゴーストフィッシング」と呼ばれる二次被害を生みます。また、廃棄されたカニやロブスターの仕掛け罫も、そこにかかった生き物がまた新たな生き物を引き寄せるため、さらに多くの被害を発生させることとなります。

転ばぬ先の杖との考えからノルウェーはプラスチックのリサイクルに関して先進国となっています。たとえば、ノルウェーでは、ペットボトルの返却システムが世界で最も進んでおり、国内で販売され

た飲料ボトルの97%がリサイクルに出されています（参考：「[Can Norway help us solve the plastic crisis, one bottle at a time?](#)」（英文））。

それでもノルウェーの海岸、島々、そして岩礁には、プラスチックやその他の廃棄物が大量に捨てられています。ノルウェーでは、人々が集まって清掃活動を行う「dugnad」（ボランティア活動の意）と呼ばれる伝統があります。国を挙げて取り組まれているdugnadの海岸清掃は、Hold Norge Rent



(Keep Norway Clean、ノルウェーをクリーンに保とうの意) が主催し、年2回、春と秋に実施されています。Gard は、この国立海岸清掃活動に2017年から参加しています。この5月4日に実施された今年の春の清掃には4万人以上が参加し、Gardからはベルゲンとアーレンダールの社員が参加しました。私たちが回収した主な廃棄物には、発泡スチロールやプラスチック製の漁具とネット、ロープ、食品包装、ストローとカップ、そして数え切れないほどの、大小さまざまな劣化したプラスチック片などがありました。またGardは、青少年団体を後援し、清掃スタッフの増員にも貢献しました。回収物の中には、ゴム製のブーツ、タイヤ、ボトル入りメッセージなども見つかりました。

捨てられたごみや潮の干満や高潮で流されてきたごみが積み重なり、海岸には大量のプラスチックごみが溜まっていますが、また海に流れ出してしまう前に回収するのは簡単です。ノルウェーの心地よい春の時期にボランティアをしながら同僚と過ごすのは清々しいですし、海岸を清掃することで海洋生物や浜辺の鳥が誤って網にからまったりプラスチック片を餌と間違えて飲み込んでしまうリスクが減少するなど、環境の保全に貢献することができます。

こうしたボランティア活動は、共通の目標に向けて地域の団体と協働することを通して、Gardの各オフィスが地域社会に溶け込むことにも役立っています。アーレンダールにあるGard本社では、[GRID](#)、[Våre Strender](#)、[Hold Norge Rent](#)と共同で海洋プラスチック問題についての理解を深めるなど、解決に向けた取り組みを行っています。



社員主導の取り組みである「GARD Our Oceans!」を通じ長年にわたり海岸清掃に携わってきた社員とその家族

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gardは本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。